

五蘭盆会せがき法要案内

今年は記録的な猛暑の中、お盆を迎えます。お墓参りのご予定はありますか？
当山では今回、は日曜日に盆せがき法要を厳修いたします。お寺の一回皆
七人のお詣りをお待ちしております。今年こそ是非、参詣ください。

八月二十日 日曜日

午前 十時～ 山内清掃
午前 十一時～ 墓地・納骨堂お盆回向
正 午 おとき
午後 一時 五蘭盆会せがき法要

終了二時半 予定

振込用紙を同封しています。ご面倒ですが通信欄に入金の種別
(とうば、志納金、護持会、管理費等)をお書きください。

今回、とうば申込みは別紙の申込用紙はFAX・郵送・
手渡しでお申し込みください。

※振替用紙でお頼み方はお寺に届くまで数日かかります。せつかくの
ご供養が法要に間に合ら様に余裕もって申込みください。

間に合わない時は電話で「いつもの通り〇本」と申込んで下さい。

◎とうば供養志納は一本二五〇〇円一本追加毎に五〇〇円追加です。

※同封の「法界万霊へ特別供養」本年は一部、水害支援金させていた
だきます。何卒ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

墓地・納骨堂・位牌壇・護持会年会費の納入も忘れずに。

妙乗寺 檀信徒御一同様

平成二十九年七月

海宝山
電話
FAX

妙乗寺
(〇九三) 五六二―五六七三
(〇九三) 五六二―五六七九

妙乗寺便り38号

妙乗寺檀信徒の皆さま
暑中お見舞い申し上げます

この度の九州北部豪雨災害に
遭われた皆さまにお見舞い
申し上げます。

先ず、妙乗寺地元、小倉の当時の状況をド
キュメントで報告します。

7月5日より福岡県内各地で雨が降り出
し、それまで空
梅雨の天気は一
転、激しい雨と
成りました。6日
各地の雨脚は凄
くなり、ここ小
倉でも夜半より
激しい雨音が
室内にいても
不安になるほど
でした。7日、日
付けが変わると
共にさらに豪雨
となり、市内2
万5千軒、5万
人に避難勧告が
出されました
。その間も豪雨
は休み無く昼前
まで降り続け
ました。午後一
旦小康状態とな
りました。



氾濫寸前の紫川

が、テレビでは重大洪水情報は解除とはなり
ません、ようやく夕方になって洪水警報に変
わりあれだけの雨も小止みとなりました。

後で分かった事ですが、もう1時間あの豪
雨が続いていたら、紫川や板櫃川は氾濫して
いたとのこと、間一髪の事態で安堵した次第
でした。今までは自分の住んでいる所だけは
絶対に被害に遭わない、という何の根拠も無
い変な自信があったのですが、今回の豪雨ば
かりは肝が細りました。

7年前の東日本大震災、八女の洪水被害、
昨年の熊本地震、そして今年の豪雨被害と多
くの被害が、時を待たず押し寄せてきます。
古来より「災害は忘れた頃にやってくる」と
言いますが、日頃から十分な心構えと準備を
お忘れ無く。

また、全国の檀信徒の皆さまより
「テレビで北部九州で被害にあっ
ていると見ましたが、お寺は大丈
夫でしたか？」とのご心配のお電
話を多数、頂戴いたしました。紙
面を借りてお礼申し上げます。

しかし、県中部の朝倉市、東峰村
(小石原、宝珠山)等では新聞テ
レビで報道されましたように甚大
な被害に見舞われ、今だに、行方
不明の方もおられます。被害に遭われた皆さ
まには心から御見舞い申し上げます。

日蓮宗福岡県の寺院ではいち早く災害直

後より、日蓮宗青年会を中心に30名を超え
るお上人方がボランティアとして駆けつけ
床上浸水のお宅の復旧、ビニールハウスの泥
動をしました。早速、我寺の副住職も被災地
に駆けつけ撤去作業に汗を流して夜遅く泥
だらけになって帰って来ました。



小川も濁流となります (朝倉)

さらに718日臨時議会を開催して被害に
遭われた5カ寺の檀信徒の皆さまに御見舞
金をお渡しすることを決定しました。

そこで妙乗寺では同封の『せがき四
聖六道 法界万霊 ご供養の志納』に併
せて『九州北部豪雨災害支援金』をお
願ひしたいと存じます。

何卒、ご協力をお願いいたします。
住職